

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00240)

事務事業名称	青少年育成	款	04	項	02	目	01	事業	005	整理番号	226	
現担当課名	児童青少年課	係名	青少年係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	230		
上位施策No・施策名	18 子どもの居場所づくりと育成支援の充実					予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和29年度											
令和 5年度担当課名	児童青少年課					事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内在住・在学・在勤の25歳未満の青少年と、その健全育成を目的に活動する地域団体	根拠法令等	(1) 杉並区青少年育成委員会補助金交付要綱 (2) 杉並区青少年善行表彰要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区内17団体ある青少年育成委員会などの地域の青少年健全育成の活動を助成し、これらの団体が行う事業活動を通して子どもたちの健全育成を推進する。善い行いをした青少年及び団体を表彰し、善行の気運醸成を図る。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	青少年育成委員会の総事業数 共催事業も含まれます。 共催事業の実施回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	青少年健全育成団体に対して、補助金または事業共催分担金を支出する。青少年によるボランティア活動や地域協力などの善行に対し、表彰を行う。青少年の健全育成に資する行事の開催または開催を支援する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	すぎなみ舞祭とスカウト連絡会との共催事業の数 青少年育成事業への参加者数 青少年育成委員会の事業と、区共催事業への参加者数の合計【行政】 青少年善行表彰の表彰者数 善行表彰を受けた個人と団体の構成人数の合計【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	65	400	109	400	114	136	28.5	87.4
活動指標 (2)	2 回	8	12	10	12	9	9	75.0	
成果指標 (1)	3 人	25,530	101,650	50,830	101,650	67,637	69,100	66.5	
成果指標 (2)	4 人	273	1,000	463	1,000	777	1,000	77.7	
事業費	5 千円	8,419	19,863	16,422	19,882	17,371	19,754	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	25,613	20,023	31,109	21,627	24,360	21,765	青少年育成委員会の活動はコロナ禍を経て、事業の見直しや廃止を行っています。そのため、関連する活動指標 (1) 青少年育成委員会の総事業数と成果指標 (1) 青少年育成事業への参加者数の令和 6年度以降の目標値を修正しました。また、活動指標 (2) 共催事業の実施回数についても同様に、スカウト連絡会との共催事業の実施内容を見直したことにより、目標値を修正しました。
	上記以外の職員	7 千円	5,145	5,513	6,620	5,517	6,472	5,711	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	39,177	45,399	54,151	47,026	48,203	47,230		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	39,177	45,399	54,151	47,026	48,203	47,230	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 226

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	青少年育成委員会への補助	17	件	14,816
	すぎなみ舞祭への分担金の支出	1	回	1,400
	スカウト連絡会との共催事業分担金の支出	8	回	426
	青少年善行表彰の実施	1	回	505
	その他 (青少年育成委員会に係る備品、消耗品の購入 ほか)			224
取組成果	<p>地域における青少年の健全育成の中心的役割を担う青少年育成委員会では、地域の子どもたちを対象に114事業を区の補助金を原資に実施し、延べ66,532名が参加したほか、分担金を支出したすぎなみ舞祭とスカウト連絡会との共催事業の2事業には約1,100名の参加者があり、いずれも子どもたちの健全育成に資する貴重な体験と経験の機会を提供することができました。</p> <p>また、大人数が参加する事業や校外活動が再開されてきたことで、善行表彰へ推薦いただく活動機会が増えたため、表彰者数も大きく増加しており、善行の機運醸成にも好影響を及ぼしています。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>青少年育成委員会は、区内全域を17地域に分け、地域住民を中心に組織されたボランティアで活動する任意団体ですが、これまでも長年に渡り青少年の健全育成に資する取組を続けてきました。</p> <p>コロナ禍を経て、各育成委員会で事業の整理統合や実施方法の見直し等を行ったことから、令和5年度の総事業数と参加者数ともに、コロナ禍前に設定していた目標値には届きませんでした。前年度実績と比較すると参加者は大きく増加しており、地域の子どもの健全育成に寄与しています。</p> <p>一方で、委員の高齢化や固定化などの課題があることから、今後も育成委員会の活動が継続されるよう、必要な支援を行っていく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>また、育成委員会の事業と同様に共催事業 (すぎなみ舞祭、スカウト連絡会との事業) にも多くの参加があることから、子どもの健全育成に寄与する取組として、今後も支援を行うことが必要です。</p> <p>青少年善行表彰の表彰者数も大きく増加していますが、これは地域事業が再開されたことに起因します。青少年善行表彰は、表彰を受けることで青少年が自ら進んで継続的に善行に取り組みきっかけとなっており、推薦者や学校関係者から肯定的な意見が寄せられています。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>青少年育成委員会補助金については、予算額の約98%にあたる合計16,623千円の申請が全17団体からありました。各団体では、補助金を原資に青少年の健全育成を目的とする事業が多数計画・実施されています。また、分担金を支出する共催事業としては、杉並スカウト連絡会と区内の各地域で年間を通じて8回開催予定の「わくわくフィールドSUGINAMI」と、10月に実行委員会形式で開催する「すぎなみ舞祭」を予定しています。こうした事業の実施により青少年の自発的な活動機会も増え、青少年善行表彰への推薦件数も増加することが見込まれます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>地域における青少年の健全育成を進めるためには、青少年育成委員会をはじめとした青少年育成を目的に活動している団体や事業に対する運営支援と活動支援が今後も必要不可欠です。</p> <p>関係団体に対しては、既存の在り方に捉われすぎることなく、現代の青少年が求める、時代に即した、内容・規模での事業実施を求めながら、次代を担う青少年のために真に必要な支援が行えるように努めていきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により規模縮小や開催見送りとなっていた各種事業は、平常時の状態に戻り、その事業費や関係団体に対する助成額もコロナ禍前の予算規模まで回復しています。</p> <p>関係団体のほとんどが自己資金を持たないボランティア団体であり、今後も助成対象事業や共催事業においては、必要な支援を継続する必要があります。</p> <p>また、こうした地域イベント等の開催は子どもたちがボランティアとして活躍する機会ともなっており、青少年善行表彰への推薦件数の増加にも繋がることから、善行表彰に要する経費も増加する見込みです。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00241)

事務事業名称	青少年の自立応援・社会参加事業			款	04	項	02	目	01	事業	006	整理番号	227	
現担当課名	児童青少年課	係名	青少年係	連絡先電話番号	4402			昨年度整理番号	231					
上位施策No・施策名	18 子どもの居場所づくりと育成支援の充実							予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和25年度													
令和 5年度担当課名	児童青少年課							事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内在住・在学・在勤の25歳未満の青少年	根拠法令等	(1) (2)	二十歳のつどい実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	青少年が、社会を構成する主体として自覚を持った成人に成長するよう支援する。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	「二十歳のつどい」式典実施回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	二十歳という節目の年に改めて成人であることの自覚と自立を促し、次代を担う青年への期待と励ましを伝えるために「二十歳のつどい」を成人の日に開催する。	成果指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	「二十歳のつどい」参加者数 式典当日の参加者数【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 回	3	3	3	3	3	3	100.0	71.0	
活動指標 (2)	2									
成果指標 (1)	3 人	2,223	2,200	2,089	2,200	2,253	2,200	102.4		
成果指標 (2)	4 %									
事業費	5 千円	15,304	16,405	12,943	15,162	10,759	15,852	特記事項 予算執行率が約70%となりますが、これは「二十歳のつどい」運営業務委託の落札額が、見積額を大幅に下回ったことと、美術芸能委託の内容を精査し、見積時から内容を改めたこととで契約額との差が生じたためです。		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	13,766	13,349	8,318	9,982	10,380			10,045
	上記以外の職員	7 千円	1,838	1,838	1,839	1,839	1,904			1,904
総事業費 (5+6+7)	8 千円	30,908	31,592	23,100	26,983	23,043	27,801			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0			0
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0			0
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	30,908	31,592	23,100	26,983	23,043	27,801			

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 227

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	「二十歳のつどい」実施運営業務委託	1	件	6,510
	「二十歳のつどい」出演者に関する美術芸能委託	1	件	1,732
	「二十歳のつどい」警備・誘導業務委託	1	件	1,005
	「二十歳のつどい」会場等の賃借	1	件	1,303
	その他 (「二十歳のつどい」実施に伴う消耗品の購入、案内通知の発送ほか)			209
取組成果	<p>「二十歳のつどい」は20歳を迎える区内に住居登録のある方と、過去に区内在住・在学歴があり式典への参加を希望する方を対象に開催しています。式典では公募により希望のあった5名の参加者にご登壇いただき、将来の夢や目標、両親への感謝の気持ち等を発表いただくなど、20歳としての自覚と自立を持つきっかけとなるほか、旧友との交流の機会として喜ばれています。</p> <p>また、運営面では入場時の混雑緩和や参加者の利便性向上などを目的に、紙の入場券からインターネットを利用した事前参加申込制に変更するなど、より参加しやすい環境を整えています。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>令和5年度の「二十歳のつどい」参加者は対象者に対する約44%にあたる2,253人でした。過去10年間の参加者の割合も40%~50%で推移しており、安定した参加者数と言えます。</p> <p>また、人生の節目となる式典に参加したことで、大人としての自覚を持つきっかけとなった、自分を支えてくれた人たちへの感謝の気持ちが芽生えた、などの意見が毎年の参加者から聞かれており、式典の開催は、社会を構成する青年の成長と自立に寄与するものと考えます。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>令和5年4月に施行された「こども基本法」において、地方公共団体がこども施策を実施するに当たっては、施策の対象となるこども等の意見を聴取しなければならないことが義務付けられています。このことを受け、今後の「二十歳のつどい」の開催に際しては、参加者の声や意見を聴く機会を設けるなどの見直しが必要となります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>区内在住又は区外在住で区内在住歴あるいは区立小・中学校の在学歴のある20歳を対象とした「二十歳のつどい」を成人の日に開催するため、9月に運営業務と警備・誘導業務の委託契約、11月に式典2部のアトラクション出演のための契約を締結します。</p> <p>11月末に約5,400人を見込む対象者全員に案内通知を発送し、当日は同内容の式典を3回に分けて開催します。参加者は2,500人程度を見込んでいます。</p> <p>運営業務の委託内容を見直したことから、昨年度と比較して委託料が増額となることが予想されます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>「二十歳のつどい」は民法改正により成人年齢が引き下げられた令和4年度より、それまでの「成人祝賀のつどい」から改名して実施しています。20歳という節目の年に改めて成人であることの自覚と自立を促し、次代を担う青年への期待と励ましを伝えることを目的に、成人の日の祝日に今後も式典を開催します。式典は会場規模や安全面等から3回に分けての開催が適正と考えます。</p> <p>また、若者を対象とした事業に当事者の意見を反映するため、令和6年度の「二十歳のつどい」において、参加者の意見を聴くアンケート調査を実施することとしており、このアンケート結果を事業の改善に役立てていきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>運営業務委託は、式典対象者・参加者の意見反映のために行うアンケートの結果により、第2部の実施内容や記念品の見直し、実行委員会形式での開催などが求められた場合には、今後、従前よりも高額な費用が必要となる可能性があります。</p> <p>なお、式典は令和3年度より参加者を3回に分けて実施していますが、会場規模や参加者の安全面を考慮すると適正な実施回数と言えます。また、式典の実施内容は必要最低限のものであり、事業コストを大幅に削減する余地はありません。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00271)

事務事業名称	児童健全育成事業			款	04	項	02	目	01	事業	035	整理番号	254
現担当課名	児童青少年課	係名	児童館運営係	事業係	連絡先電話番号	4402			昨年度整理番号	258			
上位施策No・施策名	18 子どもの居場所づくりと育成支援の充実								予算事業区分	既定事業			
事業開始	昭和41年度	実行計画事業	目標	06	施策	18	計画事業	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 5年度担当課名	児童青少年課								事業評価区分	一般			

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	18歳未満の児童及び保護者、児童の健全育成支援の活動を行う団体・個人等	根拠法令等	(1) 児童福祉法第35条、同法第40条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則等
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	児童青少年センター、児童館及び子ども・子育てプラザにおける事業の充実を図り、児童の自主性、社会性、創造性等を培い、その健やかな成長を支援する。	活動指標	センター及び児童館数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	児童館、児童青少年センターの自由利用のほか、各種事業等を実施する。 ○子ども・子育てプラザでの各種講座や遊びのプログラム、情報提供及び利用相談を実施する。 ○乳幼児親子の居場所として、居心地の良い環境設定や親子間の相互交流促進を行う。 ○地域の行事や連絡会などの取組によるネットワークづくりを行う地域子育てネットワーク事業を実施する。 放課後等居場所事業を実施する。	指標名 (1)	子ども・子育てプラザ数
		指標名 (2)	子ども・子育てプラザ数
成果指標	年間延べ利用者数 (センター、児童館及び放課後等居場所事業) 【行政】	指標名 (1)	年間延べ利用者数 (子ども・子育てプラザ)
		指標名 (2)	年間延べ利用者数 (子ども・子育てプラザ) 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 館	30	28	28	27	27	26	100.0	98.8
活動指標 (2)	2 館	5	6	6	7	7	7	100.0	
成果指標 (1)	3 人	956,893	918,500	1,015,941	997,400	1,092,663	1,107,458	109.6	
成果指標 (2)	4 人	181,127	202,500	217,940	254,360	286,825	301,920	112.8	
事業費	5 千円	261,420	305,387	301,036	341,883	337,785	463,836	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	1,092,667	1,119,300	1,188,329	1,140,801	1,188,815	1,152,807	
	上記以外の職員	7 千円	216,825	214,253	213,324	205,600	186,543	175,160	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	1,570,912	1,638,940	1,702,689	1,688,284	1,713,143	1,791,803		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	37,891	31,248	41,359	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	37,891	31,248	41,359	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	1,533,021	1,607,692	1,661,330	1,688,284	1,713,143	1,791,803	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 254

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	児童青少年センター事業	1	館	1,973
	児童館、子ども・子育てプラザ事業	33	館	9,074
	ゆうキッズ、地域子育てネットワーク事業	33	館	11,947
	放課後等居場所事業	15	校	281,693
	その他 (管理運営費等)			33,098
取組成果	<p>児童青少年センター、児童館及び子ども・子育てプラザにおける児童健全育成事業のほか、ゆうキッズ事業、地域子育てネットワーク事業を実施しました。</p> <p>また、令和6年4月に向けて杉並第七小学校及び久我山小学校での放課後等居場所事業の実施準備を行いました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>この間、児童館再編の取組による子どもの居場所づくりを進めることで、児童健全育成支援の充実を図ることとしていましたが、児童館再編の取組を検証し、その結果として、放課後等居場所事業や子ども・子育てプラザでは児童館の機能・役割を概ね継承されていることが確認できましたが、様々な課題や放課後等居場所事業等においては維持することが困難な「児童館の特性」があることが確認できました。また、検証作業を通じて、子どもや保護者には、その置かれた状況や成長段階等に応じて多様なニーズがあり、居場所に求める内容も様々であること等を確認することができました。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>この検証結果や国の動向等を踏まえて、区における今後の子どもの居場所づくりの指針となる「(仮称)杉並区子どもの居場所づくり基本方針」の策定(令和7年1月予定)に向けた検討を開始しました。子どもを取り巻く環境の複雑化や、居場所に対する多様なニーズに対応していくためには、現状の施設・事業等の充実を図りつつも、中期的には、「(仮称)杉並区子どもの居場所づくり基本方針」に基づき、すべての子どもが成長段階に応じて安心して過ごせる多様な居場所づくりを強力に進めていく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込含む)	<p>児童青少年センター、児童館及び子ども・子育てプラザにおける児童健全育成事業のほか、ゆうキッズ事業、地域子育てネットワーク事業を実施しました。</p> <p>また、小学生の放課後等居場所事業は、令和6年4月から新たに杉並第七小学校及び久我山小学校で実施したほか、実施校すべての17校で、学校休業日(土曜日を除く)における実施時間の拡充及び入退室管理アプリケーションの導入準備を行いました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>児童館や子ども・子育てプラザでは安全・安心な居場所の提供のほか、子ども達が成長段階に応じた豊かな遊びや多種多様な経験等を通じて自主性や社会性を育むことができる活動を展開し、子どもの健やかな成長や子育て力の向上を引き続き支援します。また、令和6年度に策定する「(仮称)杉並区子どもの居場所づくり基本方針」に基づき、より良い子どもの居場所づくりを推進します。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>「(仮称)杉並区子どもの居場所づくり基本方針」に基づき、子どもの居場所の充実を図っていく必要があることから、事業コストの増が見込まれます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00273)

事務事業名称	子ども国内交流事業			款	04	項	02	目	01	事業	037	整理番号	255	
現担当課名	児童青少年課	係名	事業係	連絡先電話番号	4402			昨年度整理番号	259					
上位施策No・施策名	18 子どもの居場所づくりと育成支援の充実							予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成 2年度													
令和 5年度担当課名	児童青少年課							事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区内在住の小学生 (5 ~ 6 年生)	根拠法令等	(1) 杉並区立児童青少年センター及び児童館事業運営要綱 (2) 杉並区都市交流実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	友好都市の子どもとの交流を通して、児童の健全育成を図る。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	子ども国内交流事業実施回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	名寄市との交流会を開催する。 東吾妻町との交流会を開催する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	参加者数 【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)		
活動指標 (1)	1 回	0	2	1	2	2	2	100.0	74.9		
活動指標 (2)	2										
成果指標 (1)	3 人	0	50	15	50	32	16	64.0			
成果指標 (2)	4										
事業費	5 千円	0	6,362	3,486	6,495	4,865	6,196	特記事項			
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	834	9,177	9,150	9,150	9,376	9,543	コロナ禍前の定員 (25 人) で予算を計上していたが、交流自治体との協議により定員16人で実施したため。		
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0			
総事業費 (5+6+7)	8 千円	834	15,539	12,636	15,645	14,241	15,739				
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0			
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0			
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0			
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0			
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	834	15,539	12,636	15,645	14,241	15,739			

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 255

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	子ども交流会の開催		2	回
	その他 ()			
取組成果	<p>令和2年度から4年度にかけては、コロナ禍の影響で、交流会の中止や規模縮小を余儀なくされましたが、令和5年度はその影響を受けることなく実施することができました。</p> <p>【杉並区・名寄市子ども交流会】 (名寄編)3泊4日(杉並編)3泊4日、参加児童：杉並区16名、名寄市16名</p> <p>【杉並区・東吾妻町子ども交流会】 3泊4日(東吾妻2泊、杉並1泊)、参加児童：杉並区16名、名寄市14名</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>本事業は、杉並区と交流自治体の子どもたちが、双方の自治体を訪問する形で実施しており、子ども同士の交流だけではなく、お互いのまちの文化や自然等にも直接触れることができ、将来にわたる友好関係の礎になっています。</p> <p>東吾妻町との交流は平成2年から、名寄市との交流は平成5年から実施しており、20年以上の交流の歴史を積み重ねています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>相互に宿泊を伴う交流会のため、夏休み期間の実施に限られ、近年の猛暑を踏まえたプログラムの工夫が必要になっています。</p> <p>また、杉並区では参加希望者が非常に多く、毎年、参加できない子どもが多数出ていますが、交流自治体側は現在の定員を増やすことが難しいとの声もあり、こうした状況にどのように応えていけるかが課題となっています。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和6年度は、名寄市との交流に16名が参加し、双方の自治体を訪問しました。</p> <p>東吾妻町との交流は、令和6年度から、これまでの双方の自治体を訪問する形から、隔年で一方の自治体を順番に訪問する形へ変更しました。令和6年度は杉並区で実施し、15名が参加しました。</p> <p>同世代の子どもたちが生活を共にしたり、それぞれの自治体の文化や生活を体験することで、自治体交流を深めるものとして意義深いものになりました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>杉並区と交流自治体の子ども達が相互の地域を訪れ、さまざまな体験や交流を行う活動として、貴重な機会の一つとなっている事業であり、今後も交流自治体と連携し、課題を共有しながら事業を継続していきます。来年度の東吾妻町との交流は、杉並区の子どもの東吾妻町を訪問する予定です。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>引き続き、子どもたちの体験・交流を行う貴重な機会の一つとなるよう、本事業を継続していきます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00282)

事務事業名称	次世代育成基金の運営			款	04	項	02	目	01	事業	050	整理番号	261
現担当課名	児童青少年課		係名	青少年係		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	264			
上位施策No・施策名	18 子どもの居場所づくりと育成支援の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成24年度	実行計画事業	目標	06	施策	18	計画事業	03					
令和 5年度担当課名	児童青少年課							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内の小・中・高校生、支援する大人	根拠法令等	(1) 杉並区次世代育成基金条例 (2) 杉並区次世代育成基金推進会議設置要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	子どもたちが、国内外の文化・芸術・自然に触れ、またはスポーツ・交流に参加する機会を創出するため基金を運営する。 基金への理解・賛同を得られるよう周知し、募金の呼びかけを図る。	活動指標	基金活用事業の実施件数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区内の小・中・高校生を対象とした国内外の体験・交流事業等の実施に対し、子どもの参加に係る経費の2分の1を基金から充当する。 基金の趣旨を広く区民に周知し、寄附を募る。 各種イベント会場等で募金活動を実施する。	指標名 (1)	区主催と民間提案事業助成による基金活用事業の件数
		指標説明	次世代育成基金への募金活動数
		成果指標	基金活用事業の参加児童・生徒数
		指標名 (1)	各事業の参加人数の合計【行政】
		指標名 (2)	次世代育成基金への寄附総額
		指標説明	募金額を含みます。【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 件	7	12	11	12	12	12	100.0	69.6	
活動指標 (2)	2 回	10	13	20	13	14	13	107.7		
成果指標 (1)	3 人	272	758	673	717	732	935	102.1		
成果指標 (2)	4 千円	18,278	10,000	9,774	10,000	7,523	10,000	75.2		
事業費	5 千円	22,901	22,513	16,344	21,109	14,693	19,563	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	7,342	8,343	8,318	9,982	7,199	10,045	いただいた寄附を基金に積み立てるには寄附受領額と同額を支出する必要があります。このため、寄附受領額が目標値を下回ったことにより執行残が生じたことで予算執行率が約70%となっています。また、基金を活用した民間提案事業への助成額が予算額を下回ったことでも執行残が生じています。	
	上記以外の職員	7 千円	4,043	3,675	2,575	3,678	3,046	3,807		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	34,286	34,531	27,237	34,769	24,938	33,415			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	34,286	34,531	27,237	34,769	24,938	33,415		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 261

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	基金の積立	1	回	9,206
	基金活用事業助成金の交付	4	件	4,422
	次世代育成基金活用事業実施報告書の作成	8,500	部	363
	次世代育成基金募集案内チラシ等印刷物の作成	18,500	部	205
	その他 (啓発用消耗品の購入 ほか)			497
取組成果	<p>平成24年度の基金創設からこれまでに延べ100以上の事業で基金を活用し、5,930名の児童・生徒に貴重な体験・経験の機会を提供してきました。令和5年度は区主催で8事業、助成制度により採択した民間事業者主催の事業を4事業実施し、延べ732名の児童・生徒が参加しました。</p> <p>また、案内リーフレットの区内全域配布や寄附者への事業報告書の配布、駅頭募金活動を行うなど基金の周知や寄附勧奨に取組んだ結果、1,645件 / 7,522,899円のご寄附をいただきました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>次世代育成基金は次世代を担う子どもに対して交流や体験等の様々な事業への参加を支援し、その健やかな成長を図ることを目的に平成24年度に区独自の制度として創設され、この基金を活用することでこれまでに多くの子どもたちに様々な体験活動の機会を提供してきました。また、現在はそのほとんどの事業で定員を超える申込みがあるなど、基金活用事業の認知度も高いと言えます。</p> <p>基金創設からの12年間、基金の周知や寄附勧奨に取り組んできたことで、累計1億7千万円、年平均1,400万円ほどのご寄附を頂くことができ、制度の認知が進むと共に寄附の裾野は確実に広がっていると云えますが、高額な寄附の無い年では平均額を大きく下回ることもあります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>区が主催する基金活用事業は現在8事業の実施を計画していますが、令和5年度の基金活用額は民間助成の額と合わせると2,500万円を超え、寄附受領額の平均額を上回る結果となっています。基金創設から10年以上が経過したことから、今後も将来に渡って持続可能な形で基金を運用していけるように、これまでの基金の活用方法や内容を踏まえながら必要に応じて活用方法等の見直しを行うとともに、寄附者の裾野を広げ、より多くの方からのご支援が得られるよう、寄附勧奨の取組みも継続していく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和6年度に予定する基金活用事業は全13事業で、合計25,714千円を活用して900人を超える区内の児童・生徒に貴重な体験や経験の機会を提供予定です。また、民間団体等が実施する事業への助成制度では、審査会を経て5事業を採択した結果、5,357千円を助成予定です。一方で、区立学校への周知方法が変更されたことにより周知が行き届かず、募集定員に達しない事業があるなど、昨年度と比較して参加者数は減少する見込みです。</p> <p>寄附等による受領額は、7月末時点で232件、2,922千円ですが、11月には周知チラシ等を作成し、区内全域の町会・自治会等で掲示や回覧を行うことで、年末の寄附額が毎年増加しています。また、敬老会や新年賀詞交歓会の会場のほか、荻窪駅頭での周知・募金活動を予定しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>基金への寄附件数のほか、基金活用事業への参加希望者も一定数存在していることから、区内における基金の認知度は高まっているものと評価できます。一方で、基金を今後も持続可能なものとするためには、今後も多くの方に本基金の趣旨をご理解いただき、長期的なご支援を受けられるよう、寄附勧奨の取組の工夫を一層図る必要があります。</p> <p>また、基金創設から10年以上が経過したため、これまでの基金の活用方法や内容を踏まえながら、必要に応じて活用方法等の見直しを行います。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>基金の設置目的を果たすためには毎年安定した寄附額を確保する必要があり、引き続き基金趣旨の一層の周知と、寄附募集の取組を推進する必要があります。一定額以上の寄附者には成果報告として基金を活用した事業の報告書等を送付しているため、寄附者が増えることで、報告書等の作成費及び郵送費も増加することとなりますが、継続的にご支援いただくためには成果報告は必須です。そのため、より効率的・効果的な周知方法を検討しながら寄附勧奨の取組に努めることとしています。</p> <p>また、基金創設から10年以上が経過したため、これまでの基金の活用方法や内容を踏まえながら、活用方法等の見直しを行うこととしており、その結果によっては、事業の方向性に影響が生じます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00686)

事務事業名称	子どもプレーパーク事業			款	04	項	02	目	01	事業	063	整理番号	268
現担当課名	児童青少年課	係名	管理係	連絡先電話番号	4402			昨年度整理番号	271				
上位施策No・施策名	18 子どもの居場所づくりと育成支援の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成27年度												
令和 5年度担当課名	児童青少年課							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象 児童	根拠法令等 (1) (2)	杉並区子どもプレーパーク事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 自由な遊びの場を提供し、火おこしや水遊び、木登りなどの体験を通じて、子どもたちの自主性や社会性、創造力を育み、地域社会の中で健やかな成長を推進する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	プレーパーク実施回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) 自由な遊びの場を提供する。 火おこし、水遊び、木登り、工作等の子どもの活動・遊びを支援する。 地域住民の交流活動等の場を提供する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	プレーパーク参加者数 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	61	72	62	72	66	76	91.7	100.0
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 人	16,525	14,000	15,566	15,000	15,739	15,200	104.9	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	6,056	6,104	6,104	6,514	6,514	7,325	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	1,669	1,669	1,664	1,664	1,925	1,925	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	7,725	7,773	7,768	8,178	8,439	9,250		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	3,028	3,830	3,052	3,257	3,257	3,684	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	3,028	3,830	3,052	3,257	3,257	3,684	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	4,697	3,943	4,716	4,921	5,182	5,566	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 268

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	子どもプレーパーク事業委託費の支出	1	団体	6,514
	その他 ()			
取組成果	<p>平成30年度から委託事業として実施し、区立公園を会場としたプレーパーク「杉並冒険遊び場」を開催しました。 (柏の宮公園33回、5,158人参加、井草森公園27回、8,735人参加、その他の公園6回、1,846人参加) 天候の影響で中止となる回もありましたが、前年度と比較し参加者は173人増えました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>区とNPO法人との協働提案事業として平成27年7月から事業を開始し、利用者から継続を望む声を多く頂いたことなどを踏まえ、平成30年度からは、区の委託事業として子どもプレーパーク事業を実施しています。</p> <p>井草森公園及び柏の宮公園を毎月数回開催する固定の会場とすることで地域への定着を図るとともに、区内各所の公園等で年間6回程度の出張プレーパークを開催することで、ニーズに応じた柔軟な対応を図っています。令和5年度は、区民要望等を踏まえ、新たに都立高井戸公園と方南小学校内で出張プレーパークを実施しました。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>平成27年度から令和5年度までに、延べ517回、104,585人の参加があり、直近3年度間の実施状況は以下のとおりとなっています。</p> <p>【実施回数及び参加者】 令和3年度：61回、16,525人 令和4年度：62回、15,566人 令和5年度：66回、15,739人 参加した児童の関係者からは、「普段の公園の利用の中では得られない貴重な体験の場になった」、「実施会場や開催日を増やしてほしい」といった意見が寄せられています。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>井草森公園及び柏の宮公園において、定期的に子どもたちの自由な遊びの場として子どもプレーパーク事業を実施することにより、地域への定着が図られ、多くの区民に参加いただいています。</p> <p>令和6年8月31日時点で、井草森公園で10回、柏の宮公園で15回、出張プレーパークを4回実施し、参加者は5,859人で、昨年度の参加者数を上回っており、令和5年度の年間参加者数を上回ると見込めます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和6年度も現時点ですでに多くの区民に参加いただくなど、参加者から好評を得ている事業であることから、引き続き参加者の満足を得られるよう事業を継続していきます。</p> <p>また、様々な地域の子どもの体験の機会を提供できるよう、井草森公園、柏の宮公園のように年間を通じてプレーパークを開催する公園を増やすことができないかなど、より効果的な事業展開を検討していきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>多くの参加者から好評を得ている事業であることから、多くの子どもに体験の機会を提供できるよう事業の充実に向けて検討を進めます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00292)

事務事業名称	児童青少年センター・児童館等の維持管理			款	04	項	02	目	02	事業	002	整理番号	284	
現担当課名	児童青少年課	係名	管理係	連絡先電話番号	4402			昨年度整理番号	286					
上位施策No・施策名	18 子どもの居場所づくりと育成支援の充実							予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和41年度							主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 5年度担当課名	児童青少年課							事業評価区分	施設維持管理					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	児童青少年センター、児童館、子ども・子育てプラザ、学童クラブの各施設	根拠法令等	(1) 児童福祉法第35条、同法第45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○施設の実情にあわせた修繕や設備等の整備を適切に行い、安全・安心で快適に利用できる施設を維持することで、児童の健全育成支援の充実を図る。	活動指標	
		指標名（ 1 ）	
		指標説明	
		指標名（ 2 ）	
		指標説明	
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	施設の保守点検、小規模修繕を行う。 施設の設備、維持管理物品等を購入する。 施設の光熱費等公共料金を支払う。	成果指標	
		指標名（ 1 ）	
		指標説明	
		指標名（ 2 ）	
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度 対計画比(%)	令和 5年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標（ 1 ）	1								92.6
活動指標（ 2 ）	2								
成果指標（ 1 ）	3								
成果指標（ 2 ）	4								
事業費	5 千円	281,284	352,763	329,218	421,578	390,439	425,482	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	175,203	178,540	185,491	181,332	198,242	199,550	
	上記以外の職員	7 千円	3,675	3,675	3,678	3,678	3,807	3,579	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	460,162	534,978	518,387	606,588	592,488	628,611		
財源	受益者負担分	9 千円	1,213	2,358	3,430	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	41,945	30,488	49,214	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	43,158	32,846	52,644	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	417,004	502,132	465,743	606,588	592,488	628,611	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 284

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	施設保守管理委託	63	所	214,061
	施設修繕	63	所	29,396
	光熱水費の支出			91,437
	建築工事	1	所	29,590
	その他 (電話料・手数料・備品購入等)			25,955
取組成果	<p>各施設を安全・快適に利用できるよう、施設保守管理委託契約に加え、計画的な備品・消耗品の購入や迅速かつ効率的な施設・設備の修繕を行い、適切な維持管理に努めました。また、学童クラブの受入数の拡大に伴い、ランドセルロッカーの増設など、育成環境の整備を図りました。</p> <p>施設修繕に当たっては、将来的な大規模修繕の計画や関連諸室の改修等の予定を確認し、工事内容が重複しないよう計画的な修繕を進めました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>設備保守管理・清掃業務委託、計画的な修繕等により引き続き安全・安心な施設環境の維持に取り組めます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>今後の児童館等を含む子どもの居場所づくりについては、令和6年度に策定する「(仮称)杉並区子どもの居場所づくり基本方針」に基づき、今後の方針を決定していくこととしています。</p> <p>それまでの間の施設維持管理においては、経年劣化した施設の保全・管理や学童クラブ需要増に伴う育成環境の整備に対し、緊急度や優先度等を考慮して計画的に取り組み、適切な施設の維持管理に努めます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>学童クラブの整備による施設数の増に加え、施設の老朽化に伴う屋上防水の劣化による漏水、床材や内壁の剥離、設備面ではトイレの排水不良、冷暖房設備の故障をはじめとする修繕需要の高まりなどによる事業コストの上昇が見込まれることから、安心・安全な施設環境の維持に必要な経費を適切に予算化する必要があります。</p>	